

東公民館

徳丸みどり会

徳丸みどり会会長 八束 みちこ

「徳丸みどり会」は平成7年に発足し、徳丸を主として活動しています。

メンバーは40歳代から60歳代のお花好きの主婦10名です。仕事や、子育てをしながらの参加です。活動内容は、春と秋のお花の植え付け、そして年間を通してその花壇の手入れをするという花作りが中心です。

花壇は、集落内の空き地や道路の分離帯を関係の皆様協力を得て使わせていただいています。花の種や苗は、寄附をしていただくこともありませんが、少しでも足しになればと、メンバーが手作りのお菓子を徳丸文化祭などのイベントで販売したり、さつまいもを植え付けて芋掘り大会を催したり、慣れない作業をしながら賄っています。



▶芋掘り大会の様子



▲道行く大勢の方の目を楽しませる美しい花々

今年雨の少ない暑い夏でしたが、

中川原への交差点分離帯のポーチュラカは、乾燥にもめげず色とりどりの花を咲かせて、長い間私たちを和ませてくれました。先日は、チューリップの球根を約千個植え付けました。来春が楽しみです。

もう一つの活動に徳丸の皆さんとの触れ合いをと、年一回80歳以上の方々に手作りお寿司のプレゼントをしています。材料を持ち寄ってちらし寿司をつくり、一人ひとりに手渡しをしています。今年は約70名の方々にお会いできる予定です。

また、メンバー以外の参加者も募って、花作りの勉強になればと、研修旅行や遠足を実施しています。費用はもちろんなら参加者負担です。

このように、私たち「徳丸みどり会」は、空き地のほんの一部ではありますが、花作りによって雑草や空き缶が花に変わり、地域の皆さんと笑顔で接することができることを喜びに活動を続けています。

補導センターだより

「※&#x\$#@d co.o.ne.jp」

岡田中学校生徒指導主事 三好 裕士

今では、見慣れた文字や数字の羅列。生徒たちのノートや「あゆみ」の片隅で目にすることも少なくありません。

携帯電話からインターネットへ接続できるサービスは、1999年2月に始まりました。親指で番号ボタンを押して文字を打ち込むだけで、どこにいても手軽にパソコンと同様に情報が入手でき、メールを送受信できるようになりました。現在、携帯電話は私たちの生活に欠かせない便利な道具となり、広く普及しています。

しかし、その一方で中高生が好奇心から携帯電話でインターネットの「出会い系サイト」などへアクセスして、凶悪事件や性犯罪などの被害に遭うという報道が後を絶ちません。文明とナイフは使い方の違いで、文化にもなれば凶器にもなります。インターネットという匿名性の高い情報伝達手段と、携帯電話という「親の目が届かない」通信手段を利用する青少年たちが、社会

に新たな犯罪を生み出す土壌になっている側面がうかがえます。

昨年、本校でも生徒同士での携帯電話によるメールのやりとりから、友人関係のトラブルへ発展するという問題が起きました。手紙とは違い、携帯電話に映し出される文字からは、相手の温度を感じることができません。お互いが感じ取ることができなかった温度差がトラブルの原因でした。携帯電話を使った犯罪にも同様のことが言えるのではないのでしょうか。

今日、携帯電話は中高生にも急速に普及しています。一方、「出会い系サイト」に絡んだ事件の被害者のうち、実に79%が未成年(2001年)であるということも事実です。ぜひ、皆さんのご家庭でも、携帯電話の利便性だけではなく、危険な面についても子どもと一緒に話し合い、携帯電話の持ち方や使い方について考える機会を持つてはいかがでしょうか。